

## 海外安全対策情報

### 1 治安情勢

- (1) メキシコ公安省の発表では、グアナファト州の2018年度第3四半期(2018年10月～12月)の犯罪発生認知総数は33,304件と、前期比(2018年7月～9月)マイナス3.7%となっている。また、殺人発生認知件数(過失含む)については1,090件とマイナス3.7%と減少傾向になっているものの、2018年の1年間におけるグアナファト州の殺人事件数は4,298件となり、メキシコ全州のうち2年連続で1位となった(2017年3,366件)。
- (2) グアナファト州治安当局者からの情報によれば、これら殺人事件件数上昇の背景には、麻薬やガソリン窃盗に関連する組織同士の抗争が、今まで以上に激化したことが原因とされている。但し、これら治安の悪化に伴い、軍が介入、市警察、検察、連邦警察と協力して治安の安定に取り組んでおり、グアナファト州におけるこれら犯罪組織は確実に弱体化しつつある旨、話を受けている。
- (3) また、州内で発生している殺人事件の8割以上が麻薬やガソリン窃盗組織との抗争によるものと報告を受けているため、不特定な人物を狙っての犯行ではないと認識している。しかしながら、治安当局とそれら犯罪組織との銃撃戦が市内で発生する等、銃撃戦の流れ弾による一般人の死傷事案も発生していることから、引き続き在留邦人に対して注意喚起を行っている。
- (4) 更に、殺人事件と同様に、麻薬売買に関する事件は2017年6,567件に対して、2018年は8,739件発生しており(前年比33.07%増)、殺人事件件数と同じく増加傾向にあることから、グアナファト州における殺人事件の背景には、麻薬に関する事件が紐付いていることが理解できる。

### 2 管轄地域内における一般犯罪の傾向(2018年10月～12月) ※前期2018年7月～9月

#### (1) グアナファト州 総数 33,304件(前期比 3.7%減)

ア 故意殺人	675件(前期比 7.7%減)
イ 傷害	3,361件(前期比 4.9%減)
ウ 窃盗	7,644件(前期比 5.0%減)
エ 強盗	3,513件(前期比 7.6%増)
オ 誘拐	0件(前期 2件)

#### (2) アグアスカリエンテス州 総数 9,241件(前期比 10.6%減)

※麻薬関連及び恐喝事件が増加傾向にある。

ア 故意殺人	12件(前期比36.8%減)
イ 傷害	1,216件(前期比 3.0%減)
ウ 窃盗	3,203件(前期比12.2%減)
エ 強盗	307件(前期比 2.8%減)
オ 誘拐	7件(前期 1件)

#### (3) ハリスコ州 総数 32,588件(前期比 10.7%増)

ア 故意殺人	566件(前期比 8.8%増)
イ 傷害	2,935件(前期比 4.1%減)
ウ 窃盗	9,614件(前期比31.2%増)

エ 強盗	5, 245件 (前期比36.4%増)
オ 誘拐	7件 (前期 4件)

(5) ケレタロ州 総数 14,451件 (前期比 3.8%減)

ア 故意殺人	42件 (前期比26.3%減)
イ 傷害	1,564件 (前期比 2.1%減)
ウ 窃盗	6,204件 (前期比 6.2%減)
エ 強盗	701件 (前期比28.4%増)
オ 誘拐	5件 (前期 4件)

(6) サンルイスポトシ州 総数 10,526件 (前期比 3.9%増)

ア 故意殺人	96件 (前期比17.9%減)
イ 傷害	959件 (前期比 0.9%増)
ウ 窃盗	2,939件 (前期比 4.9%増)
エ 強盗	1,007件 (前期比15.3%増)
オ 誘拐	6件 (前期 6件)

(7) サカテカス州 総数 5,110件 (前期比 7.2%減)

ア 故意殺人	163件 (前期比 5.8%増)
イ 傷害	469件 (前期比 同数 )
ウ 窃盗	1,352件 (前期比12.0%減)
エ 強盗	410件 (前期比14.5%増)
オ 誘拐	11件 (前期 12件)

### 3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) グアナファト州内では、麻薬やガソリン窃盗に関係する犯罪組織の抗争が激化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生している。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやディスコ等の出入りについて極力避けると共に、夜間を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、この様な事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意が必要である。
- (2) 次に、銀行で現金を引き出した後に、つけられ強奪される事件も昨年同様に頻繁に発生している。銀行にて現金を引き出す際は、顧客の利用率の高い場所や時間帯、警察官や警備員が常駐している場所を選ぶ等、出来る限り狙われるリスクを下げるよう心掛ける必要がある。
- (3) また、凶器を利用した強盗も増加している。この様な事件に巻き込まれないためにも、発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域への通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げる必要がある。
- (4) そして、前期に引き続き、コンビニエンスストアやマーケット等の駐車場における車上荒らしが、引き続き発生しており、コンビニエンスストアの立地や利用する時間帯に良く注意するとともに、車両を離れる際の貴重品の放置に注意が必要である。

- (5) 更に、昨年9月には在留邦人が短時間誘拐に遭遇すると言った事件が発生している。当地における短時間誘拐は、車両の盗難又はATMへ連れて行き現金を引き出す事を目的としたものが一般的であるため、犯人の言うとおりに従っていれば、短時間で無事に解放されるケースが殆どである。万が一にも同様の事件に遭遇した際は、犯人には抵抗せず指示に従うことが重要である。
- (6) 最後に、昨年10月に在留邦人が被害に遭った恐喝電話また狂言誘拐は、メキシコ国内でも多く発生しており、巧みな手口で恐喝相手に恐怖を生じさせてコントロールし、誘拐事件に見せかけたり、現金を振り込ませたりと手口は非常に巧妙である。不審な番号には出ない、出たとしても不審な事を話すようであれば即切ることが対策となる。

#### 4 邦人被害の犯罪発生状況（2018年10月～12月）

バヒオ地区における邦人被害数は、前期（7月～9月）24件であったのに対して、今期（10月～12月）は5件と減少傾向にあるものの、前期に引き続き、凶器を利用した強盗事件（車両強盗や店舗強盗）が散見されるため注意が必要である。

被害日時	被害場所	被害者	犯罪種別	被害状況
10/22 (月) 15:00	グアナファト州 グアナファト市	在留邦人男性	詐欺（恐喝）	固定電話に麻薬組織と名乗る男性から「外部に武装させた仲間を待機させている。死にたくなければ、指定する口座に現在所持している現金を全て振り込め」との強迫電話があった。邦人男性は怖くなり、先ずは言うとおりに2千ペソを振り込んだ。その後、男性より名前と携帯電話の番号を聞かれ、恐怖のあまり番号等を教えてしまい、携帯電話に切り替わり会話が続いた。男性から更なる現金の振り込みを要求されたため、邦人男性は現金を振り込むべく近くのATMに向かったところ、邦人男性の不審な行動に気付いた同僚が電話を切るよう指示し、ようやく男性は正気に戻った。その後、何度か電話が掛かってきたが、同僚が代わりに出て、何も言わず電話を切る対応を続け、その後、男性から電話は来なくなった。
11/4 (日) 14:00	ケレタロ州 ケレタロ市	在留邦人男性	詐欺（銀行カードすり替え）	ショッピングモールAnteaにあるATMで現金を引き出して、立ち去ろうとした際、後ろにいた男性が、自分の利用していたATMを指差し、更なる手続きが必要であるようなそぶりをしたため、2度ほどATMに自分の銀行カードを挿入した。その間も何度か話しかけられたが、スペイン語が理解できず、その場を立ち去ったところ、銀行より現金が引き出された旨のメール通知があったため、銀行カードを確認したところ、自分の銀

				行カードが別の銀行カードとすり替わっていることに気がついた。
11/9 (金) 06:00	グアナファト州 レオン市	在留邦人男性	強盗(車上強盗)	アエロプエルト通りComanjilla市へ向かう道路とイラプアト市に向かう道路の分岐点付近にあるコンビニ(OXXO)へ立ち寄り、買い物を終わらせた後、車両に乗り込んだところ、別の駐車車両から出てきた男性2名に声をかけられた。扉をロックするが無視したところ、男性らは工具のような物を取り出し、後部座席の窓ガラスを割り、後部席に置いた鞆(ノートPCや旅券が入っていた)を強奪し逃走した。 邦人男性にケガ等は無かった。
11/28 (水) 15:45	グアナファト州 イラプアト市	在留邦人男性	窃盗(車上荒らし)	イラプアト市内にあるファーストフード店(Sabway)で食事をして帰ってきたところ、車の左後部座席の窓が割れ、トランクルームに置いてあったバックが盗まれた。貴重品(財布や旅券)は自身で所持していたため、被害は最小限に抑えられた。
12/2 (日) 07:00	グアナファト州 セラヤ市	在留邦人男性	強盗(車両強盗)	セラヤ市内にあるアラモカントリークラブ方面へ向かってアエロプエルト通りを邦人男性2名が乗る車両が走行中、後ろから来た車に追い抜かされ、道を塞がれ停止させられた。中から銃器(ライフル)を持った1名の男性が降りてきて、邦人男性らの乗る車両に銃口を向けながら貴重品等を差し出すよう要求してきた。要求どおりに貴重品を渡したところ、車両から降りるよう命じられ、指示に従い車両から降車した。ライフルを持った男性は、邦人男性車両に乗り込み、乗ってきた車両と共に逃走した。

以上